

平成 27 年度 各郡市の研究活動報告（柏崎・刈羽）

会 長 柳 恒 雄
副会長 阿 部 和 雄
評議員 阿 部 和 雄

1 研究活動の方針

会員の資質向上及び学校教育の充実発展を図るため、市教育センターや関係機関等と連携し、特色ある事業を展開する。

- (1) 会員の資質向上に関する事項（研究会、講習会、講演会、視察・見学）
- (2) 教育についての研究・調査・紹介等に関する事項
- (3) 各種教育団体との連絡、提携に関する事項

2 研究活動の実際

(1) 研究組織

柏崎市刈羽郡学校教育研究会（小・中・特別支援・中等教育学校 37 校）が母体となり、小学校 21 校、会員数 332 名で活動する。

研究推進は 24 部会（A 11 部会：各教科、B 13 部会：各種教育）で構成し、会員は、A、B それぞれ 1 部会ずつ選択して所属し、活動する。

(2) 研究活動の概要

ア 会議（総会、評議員会、理事会）

イ 研究部活動

各部が研究主題を設定し、会員の指導力向上や小中連携に関する事業を展開する。市立教育センターとの連携を図り、講習会や授業研修会を実施する。

ウ 市教育委員会との連携事業（教育文化講演会）

エ 県小教研・郡市学校研指定の研究会への協力

オ 学習指導改善調査研究事業報告会

市教育委員会による指導会、各校長による具体的取組についての情報交換会を行う。

(3) 研究刊行物

「柏崎刈羽の学校教育」（平成 27 年度第 11 集）を 3 月上旬に刊行する。

3 郡市小教研が関係した研究会

○ 10 月 22 日（木） 柏崎市立枇杷島小学校（特別活動）

「あたたかい人間関係をともに築こうとする子の育成」
～学級会と異年齢集団活動の充実を通して～